

令和3年度 e・アンケートモニター  
第1回アンケートNo.1 調査結果  
テーマ 「プラスチックごみ問題について」

## I 調査の概要

### 1 調査の目的

プラスチックは、レジ袋やペットボトル、容器包装のほか、文具や家電製品など、私たちの身近なあらゆる場所で使われており、便利な素材です。

一方で、近年、ポイ捨てされたプラスチックごみの一部が海に流出し、生態系を含めた海洋環境への影響など、プラスチックごみによる様々な問題が懸念されています。

山口県では、令和3年3月に策定した第4次山口県循環型社会形成推進基本計画や、やまぐち海洋ごみアクションプラン(山口県海岸漂着物等対策推進地域計画)に基づき、プラスチックごみの削減に向けた県民総参加での機運を醸成し、県民一人ひとりによる取組を推進することとしています。

そのため、本アンケートは、今後、山口県において、プラスチックごみの削減を推進していくための基礎資料として御意見を伺うものです。

### 2 調査実施期間

令和3年7月16日(金)～7月30日(金)

### 3 調査対象

令和3年度e・アンケートモニター 108人

### 4 回答状況

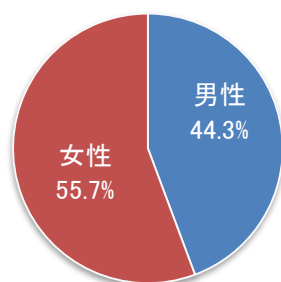
回答者 88人(回答率 81.5%)

### 5 調査担当課

山口県環境生活部廃棄物・リサイクル対策課

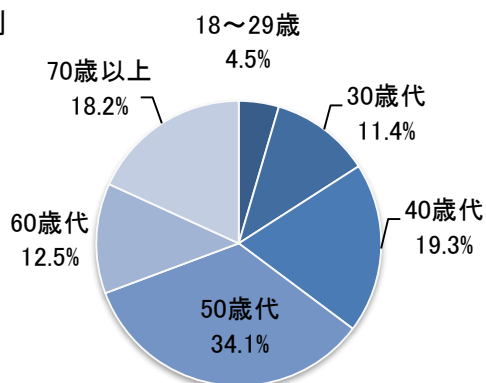
## II 回答者の属性

### ■性別



区分	人数	%
男性	39	44.3
女性	49	55.7
計	88	100.0

### ■年代別



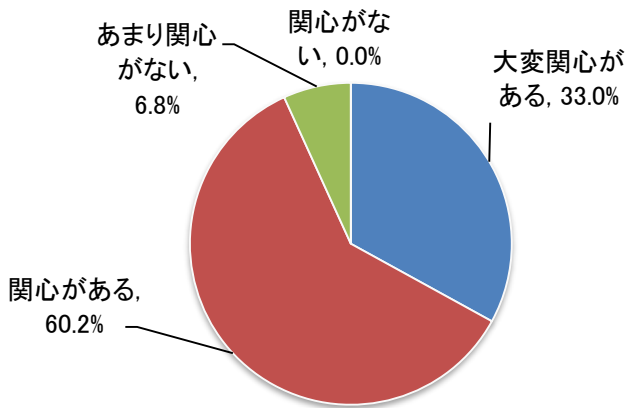
区分	人数	%
18～29歳	4	4.5
30歳代	10	11.4
40歳代	17	19.3
50歳代	30	34.1
60歳代	11	12.5
70歳以上	16	18.2
計	88	100.0

※「回答者の属性」、「調査結果」の各グラフ及び各表中に示した数値は小数点第2位を四捨五入しているため、全項目の合計が100.0%とならない場合があります。

### Ⅲ 調査結果

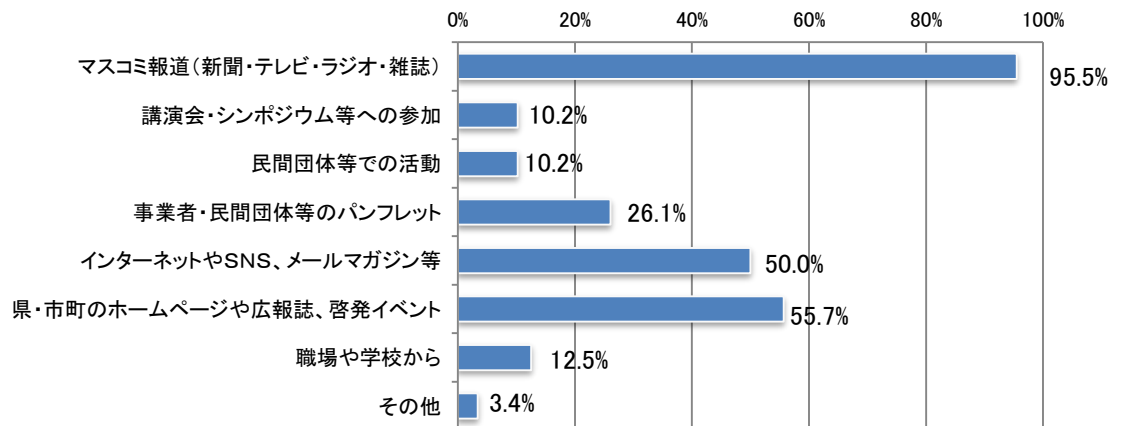
#### 【プラスチックごみ問題について】

Q 1 あなたは、プラスチックごみ問題に関心をお持ちですか。(1つのみ)



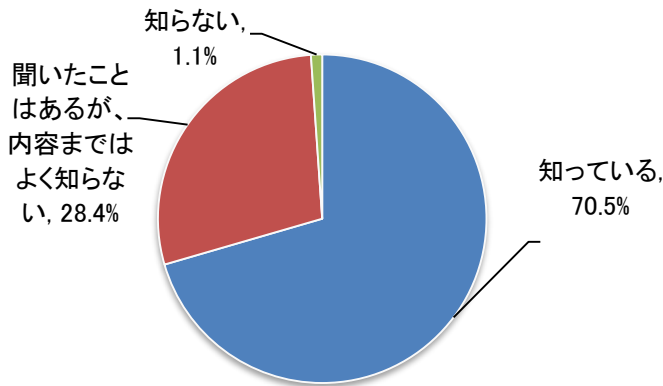
選択肢	人数	%
大変関心がある	29	33.0
関心がある	53	60.2
あまり関心がない	6	6.8
関心がない	0	0.0
計	88	100.0

Q 2 あなたは、プラスチックごみ問題など環境に関する情報を何から得ていますか。(いくつでも)



選択肢	人数	%
マスコミ報道(新聞・テレビ・ラジオ・雑誌)	84	95.5
講演会・シンポジウム等への参加	9	10.2
民間団体等での活動	9	10.2
事業者・民間団体等のパンフレット	23	26.1
インターネットやSNS、メールマガジン等	44	50.0
県・市町のホームページや広報誌、啓発イベント	49	55.7
職場や学校から	11	12.5
その他	3	3.4

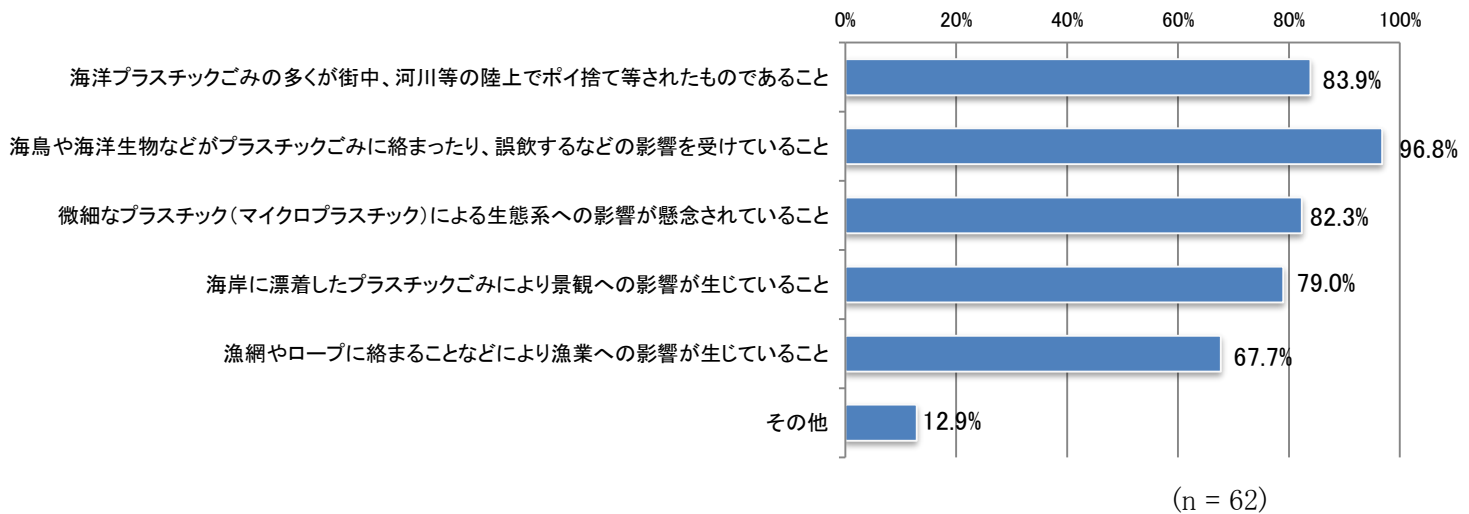
**Q3** 近年、プラスチックごみ問題の中でも、特に「海洋プラスチックごみ」による海洋環境等への影響が世界的な問題として注目されており、このままでは、2050年までに、海洋中に存在するプラスチックの量が、魚の量よりも多くなるとも言われています。  
あなたは、「海洋プラスチックごみ問題」を知っていますか。(1つのみ)



選択肢	人数	%
知っている	62	70.5
聞いたことはあるが、内容まではよく知らない	25	28.4
知らない	1	1.1
計	88	100.0

**Q4** 【Q3で「1 知っている」と回答した方】

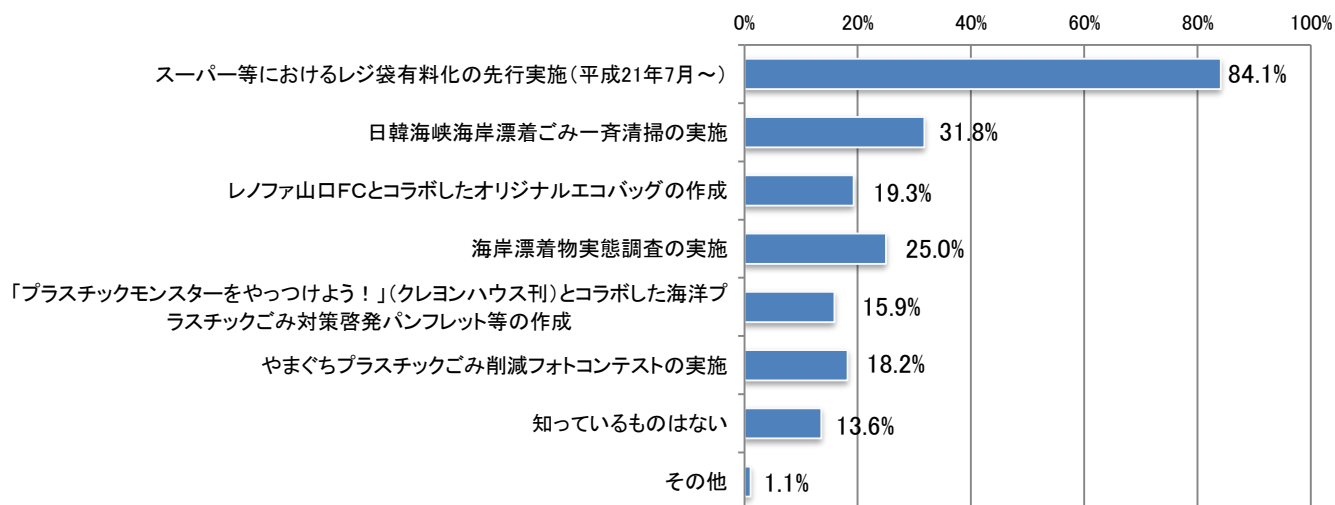
あなたは、海洋プラスチックごみ問題について、どのようなことを知っていますか。(いくつでも)



選択肢	人数	%
海洋プラスチックごみの多くが街中、河川等の陸上でポイ捨て等されたものであること	52	83.9
海鳥や海洋生物などがプラスチックごみに絡まったり、誤飲するなどの影響を受けていること	60	96.8
微細なプラスチック(マイクロプラスチック)による生態系への影響が懸念されていること	51	82.3
海岸に漂着したプラスチックごみにより景観への影響が生じていること	49	79.0
漁網やロープに絡まることなどにより漁業への影響が生じていること	42	67.7
その他	8	12.9

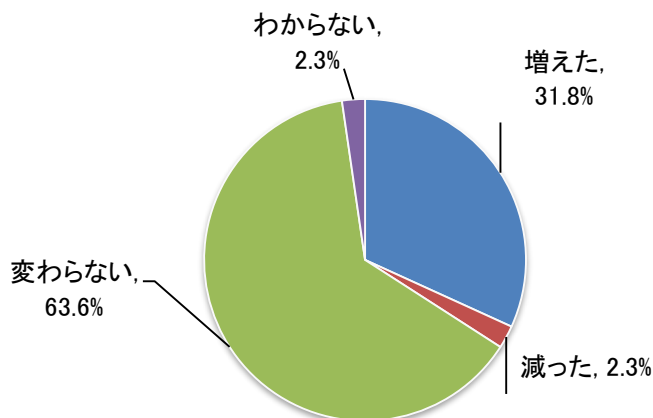
【プラスチックごみ削減に向けた取組について】

Q5 プラスチックごみ削減に向けた、山口県の実施のうち、あなたが知っていることはありますか。(いくつでも)



選択肢	人数	%
スーパー等におけるレジ袋有料化の先行実施(平成21年7月～)	74	84.1
日韓海峡海岸漂着ごみ一斉清掃の実施	28	31.8
レノファ山口FCとコラボしたオリジナルエコバッグの作成	17	19.3
海岸漂着物実態調査の実施	22	25.0
「プラスチックモンスターをやっつけよう！」(クレヨンハウス刊)とコラボした海洋プラスチックごみ対策啓発パンフレット等の作成	14	15.9
やまぐちプラスチックごみ削減フォトコンテストの実施	16	18.2
知っているものはない	12	13.6
その他	1	1.0

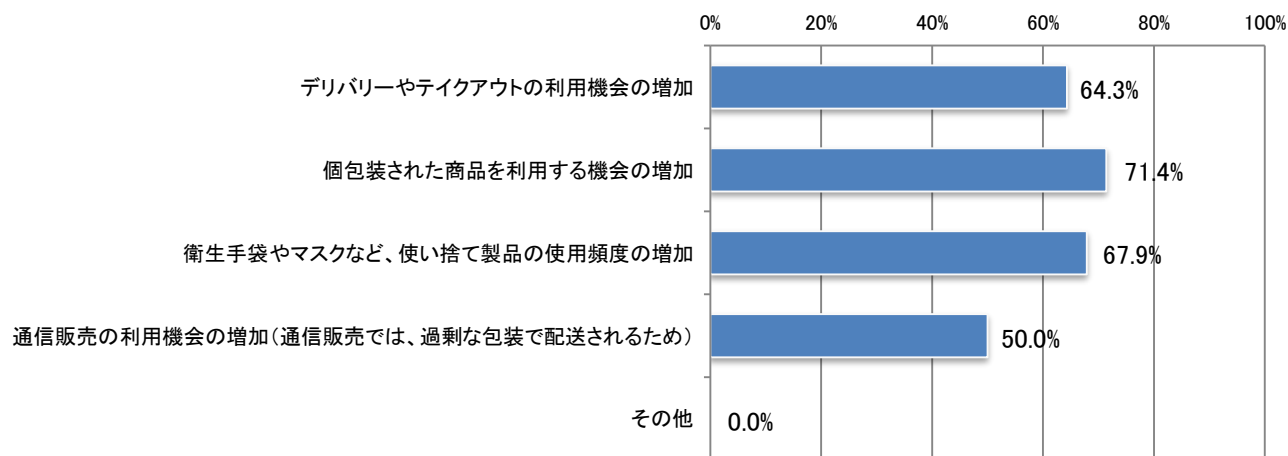
Q6 新型コロナウイルス感染症禍(以下「コロナ禍」という。)において、あなたの家庭から排出されるプラスチックごみの量は増えましたか。(1つのみ)



選択肢	人数	%
増えた	28	31.8
減った	2	2.3
変わらない	56	63.6
わからない	2	2.3
計	88	100.0

**Q7 【Q6で「1 増えた」と回答した方】**

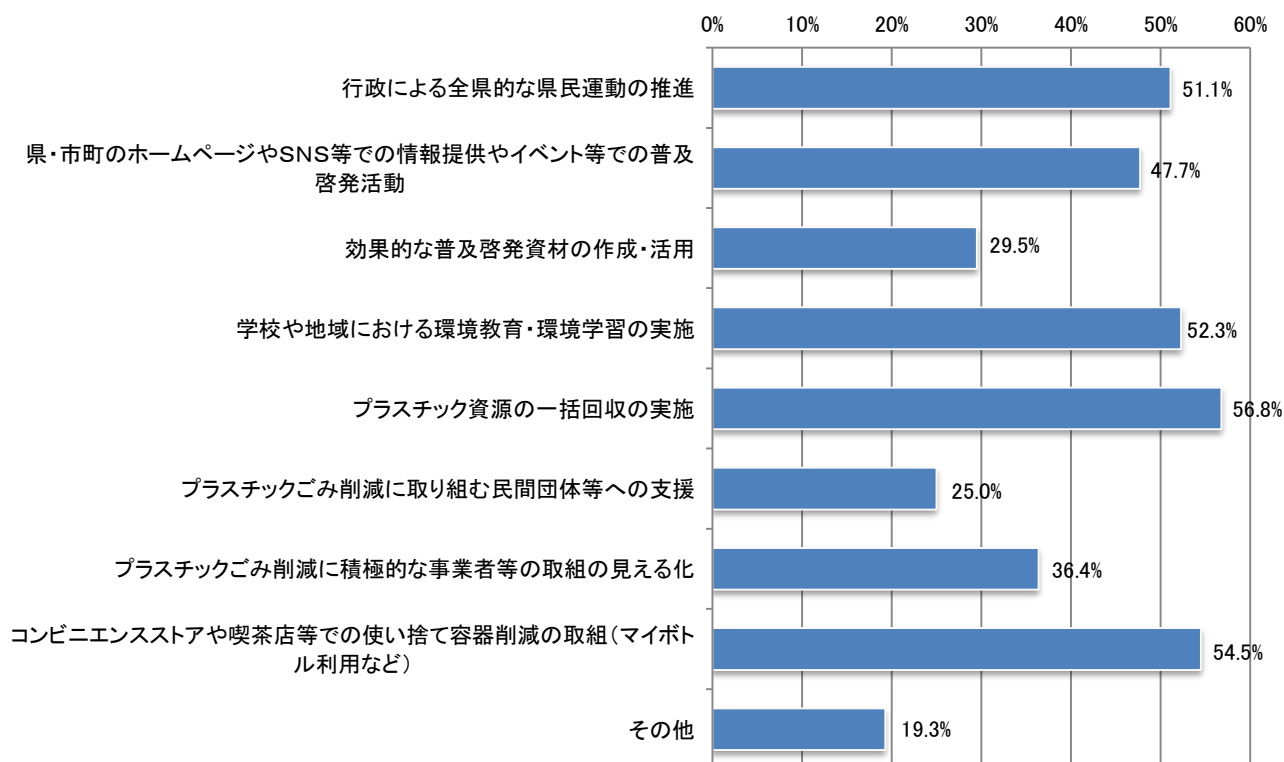
コロナ禍において、プラスチックごみの量が増えた理由について、教えてください。  
(いくつでも)



(n = 28)

選択肢	人数	%
デリバリーやテイクアウトの利用機会の増加	18	64.3
個包装された商品を利用する機会の増加	20	71.4
衛生手袋やマスクなど、使い捨て製品の使用頻度の増加	19	67.9
通信販売の利用機会の増加(通信販売では、過剰な包装で配送されるため)	14	50.0
その他	0	0.0

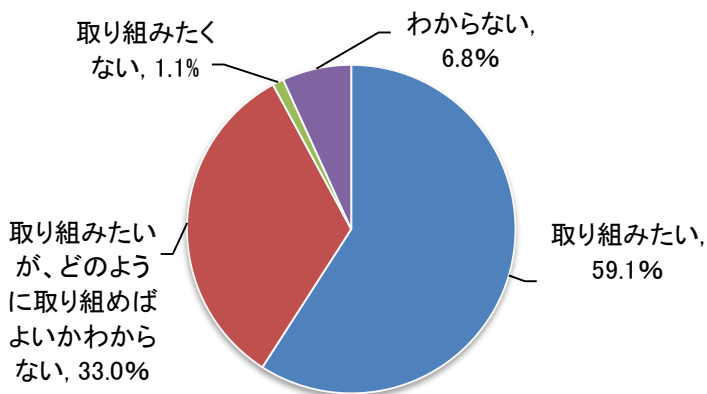
**Q8** 県では、日常生活でのプラスチックごみの排出量を1人1日あたり35g(令和元年度)から20g(令和7年度)に削減することを目標にしています。  
この目標を達成するために、どのような取組が必要だと思いますか。(いくつでも)



選択肢	人数	%
行政による全県的な県民運動の推進	45	51.1
県・市町のホームページやSNS等での情報提供やイベント等での普及啓発活動	42	47.7
効果的な普及啓発資材の作成・活用	26	29.5
学校や地域における環境教育・環境学習の実施	46	52.3
プラスチック資源の一括回収の実施(容器包装プラスチックとその他のプラスチックごみを一括して回収すること)	50	56.8
プラスチックごみ削減に取り組む民間団体等への支援	22	25.0
プラスチックごみ削減に積極的な事業者等の取組の見える化	32	36.4
コンビニエンスストアや喫茶店等での使い捨て容器削減の取組(マイボトル利用など)	48	54.5
その他	17	19.3

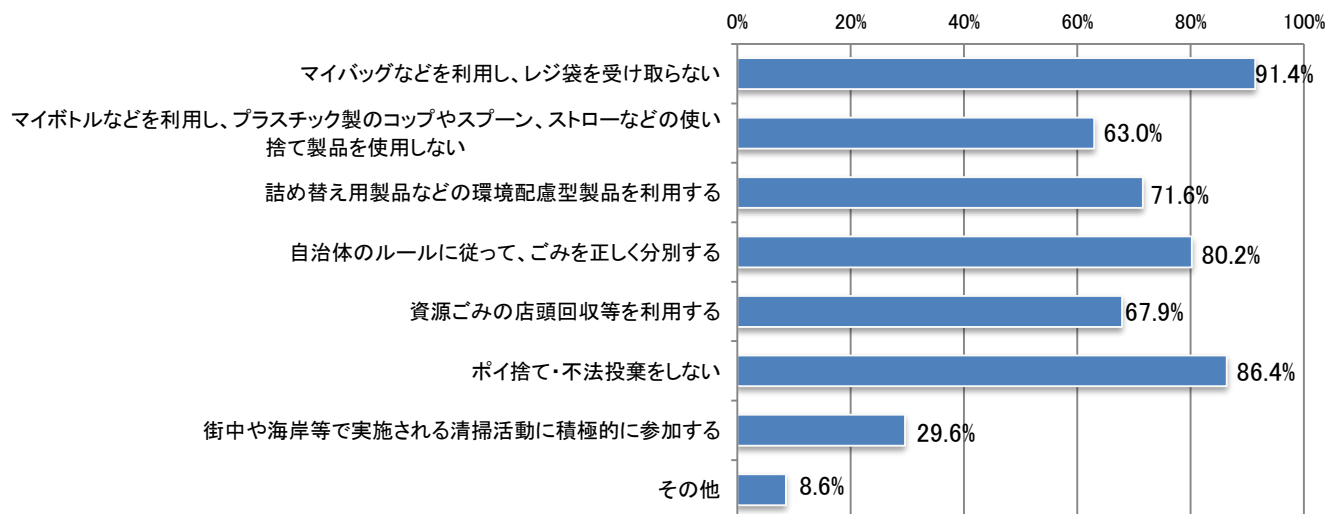
**Q9** 全国一律でのプラスチック製レジ袋の有料化(令和2年7月)やプラスチックごみの削減・リサイクルの促進を目指す法律の制定に向けた動きなど、国を挙げた取組も進められています。

あなたは、プラスチックごみ削減に向けて、何か取り組みたいと思いますか。(1つのみ)



選択肢	人数	%
取り組みたい	52	59.1
取り組みたいが、どのように取り組めばよいかわからない	29	33.0
取り組みたくない	1	1.1
わからない	6	6.8
計	88	100.0

**Q10** 【Q9で「1 取り組みたい」、「2 取り組みたいが、どのように取り組めばよいかわからない」と回答した方】  
あなたは、どのような取組であれば協力できますか。(いくつでも)



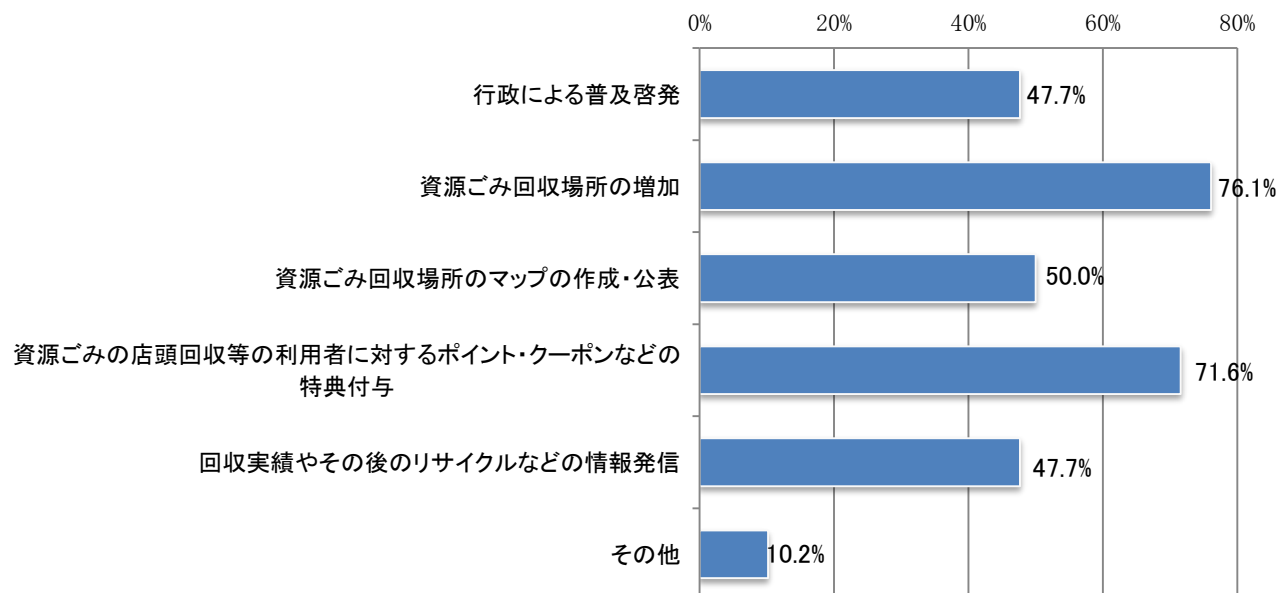
(n = 81)

選択肢	人数	%
マイバッグなどを利用し、レジ袋を受け取らない	74	91.4
マイボトルなどを利用し、プラスチック製のコップやスプーン、ストローなどの使い捨て製品を使用しない	51	63.0
詰め替え用製品などの環境配慮型製品を利用する	58	71.6
自治体のルールに従って、ごみを正しく分別する	65	80.2
資源ごみの店頭回収等を利用する	55	67.9
ポイ捨て・不法投棄をしない	70	86.4
街中や海岸等で実施される清掃活動に積極的に参加する	24	29.6
その他	7	8.6

**Q11** プラスチックごみ削減に向けた取組の1つとして、資源ごみ（食品トレーやペットボトル等）の店頭回収があります。

県では、スーパー等の店頭で回収されている資源ごみの量を1,619トン（平成30年度）から2,000トン（令和7年度）に増やすことを目標にしています。

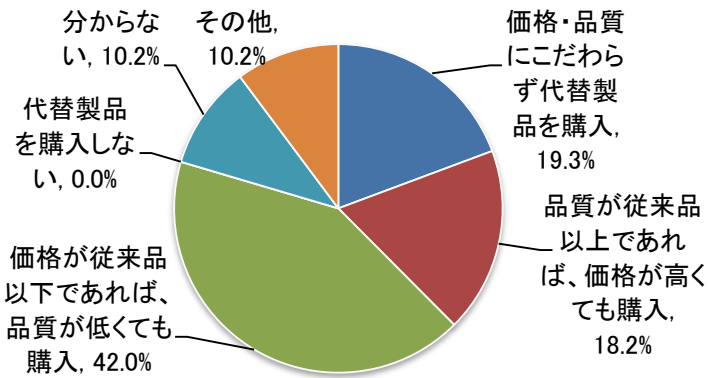
この目標を達成するために、どのような取組が必要だと思いますか。（いくつでも）



選択肢	人数	%
行政による普及啓発	42	47.7
資源ごみ回収場所の増加	67	76.1
資源ごみ回収場所のマップの作成・公表	44	50.0
資源ごみの店頭回収等の利用者に対するポイント・クーポンなどの特典付与	63	71.6
回収実績やその後のリサイクルなどの情報発信	42	47.7
その他	9	10.2



**Q12** プラスチックごみ問題の解決に向けては、植物由来プラスチック、生分解性プラスチック、紙などの素材を使用した「代替製品」などへの転換も重要と言われています。  
あなたは、どのような条件であれば、「代替製品」を購入してもよいと思いますか。  
(1つのみ)



選択肢	人数	%
価格・品質にこだわらず代替製品を購入	17	19.3
品質が従来品以上であれば、価格が高くても購入	16	18.2
価格が従来品以下であれば、品質が低くても購入	37	42.0
代替製品を購入しない	0	0.0
分からない	9	10.2
その他	9	10.2
計	88	99.9

**【その他】**

**Q13** プラスチックごみ削減に関するご意見・ご要望がありましたら、自由にご記入ください。  
(全角200字以内)

省略